

実務経験のある教員による授業科目一覧 2022(令和4)年度

	担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学部 または学科	科目 区分	方法	授 業 内 容
1	山口道晴	人間学Ⅱ-2	2~4	2	音楽文化学科 演奏学科	教養	講義	現職カトリック司祭としての豊富な司牧経験を活かし、宗教学・聖書学について講義を行う。ローマ・カトリックの教えと聖書における基礎知識を学ぶとともに人間としての在り方、自分の中にある宗教的な心の動きや、自らの精神性を高めるキリスト教的霊性を学ぶ。
2	糸川裕子	情報機器演習	1	2	音楽文化学科 演奏学科	教養	講義	SEとしてソフトウェア開発業務に従事した経験を活かし、再利用可能なデータの作成方法や伝わりやすいデータの提示方法など、実社会で有益なソフトウェアの利用方法を教授する。学校教育現場でのコンピュータ普及に対応するため、コンピュータの機能と活用及び今日のコンピュータの状況についての一般的理解を得ると共に、音楽教員に必要なコンピュータ操作の初歩を習得する。
3	川上統	楽曲分析Ⅰ	2~4	2	音楽文化学科 演奏学科	関連	講義	作曲家として幅広く活躍する経験をもつ教員が授業を行う。バロックから古典派にかけての器楽作品を、時代様式を踏まえながら多角的に分析し、各作品の和声、形式、書法について考察し、作品の音楽的意図を深く汲み取ること目標とする。
4	井田勝大	指揮法Ⅱ	3・4	2	音楽文化学科 演奏学科	教養	講義	Kバレエカンパニー及びシアター オーケストラトーキョー音楽監督であり、指揮者として多くの楽団と共演の経験をもつ教員が授業を行う。この授業では、指揮法の基礎を習得し、音楽表現を的確に指揮で表せるようになることを目的とする。実際にピアノや室内楽を指揮し、演奏者との対話により音楽の内容を共有できるようにする。
5	壬生千恵子	世界音楽文化Ⅰ	2~4	2	音楽文化学科 演奏学科	関連	講義	諸外国の伝統音楽団体の招へい業務と海外での音楽関連業務の経験を活かし、学問的フィールドワークにとどまらない音楽と社会との様々な結びつきや課題を多角的に見つめ、理解しながら、世界の諸民族の音楽文化を学ぶ。
6	福原之織	音楽教育概論	1	2	音楽文化学科	専門	講義	中学校・高等学校教諭(音楽)としての経験ならびに小学校での音楽科指導経験を活かし、授業を行う。本授業では、それぞれの音楽体験をふりかえりつつ、人と音楽との関わりや、音楽教育の意義について考察し、自分なりの音楽教育研究の課題をもてるようになることを目的とする。
7	壬生千恵子	音楽総合概論	1	2	音楽文化学科	専門	講義	この授業は、音楽文化学科の総合プログラムでの学びを理解するための概説にあたる。音楽文化学とは何か、音楽学、音楽教育、創作、アートマネジメントなどを複合的に学ぶことによって、どのような学修デザインがあり、また、どのような学修の出口の方向性が期待できるのか、各々の学問的概念の基礎理解と共に、個々が自分の学びのプログラムを設計していく手助けとなる視点を複数得ることを目的としている。また、後半では、「考え・動き・取り組める」人材になるために必要な実践的態度を養い、音楽心理、音楽療法、音楽教育、舞台制作論、コミュニケーション理論など、関連する諸学問領域の在り方や学びの方向性についての理解を深める。音楽教育ワークショップの開催、文化財団管理職、国際音楽祭など、国内外の舞台制作・音楽活動プロデュース・劇場運営の実務経験をもつ担当教官が授業を行う。

実務経験のある教員による授業科目一覧 2022(令和4)年度

	担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	配置学部 または学科	科目 区分	方法	授 業 内 容
8	島田美城	幼児教育原理	1	2	音楽文化学科	専門	講義	幼稚園教諭として勤めた経験を踏まえて、教育や教職の意義、教員の役割、教育が果たす社会的役割や学校の制度的な意義、幼児の発達と必要な保育についてわかりやすく提示する。
9	島田美城	幼児教育方法論	2	2	音楽文化学科	専修	講義	モンテッソーリ教育3～6歳の国際ディプロマを取得し、幼稚園教諭として勤務した経験から、幼児の発達に応じた方法や環境の準備と、主体的に活動しようとする幼児への適切な対応について様々な実例を見せながら説明する。
10	井筒敦子	保育内容論Ⅱ(人間関係)	2・3	2	音楽文化学科	専修	講義	長年にわたる幼稚園教諭、園長としての豊富な経験を活かし授業を行う。人とのかわりに関する領域「人間関係」は、幼児が主体性を発揮し、生活や遊びを通して他者との関係の中で学んでいくものとして捉える必要がある。この授業では、乳幼児期の人間関係の発達について理解するとともに、人と関わる力を培うための教師の役割や環境構成、具体的な指導の方法について学び、保育を構想する力を身につけることを目的とする。
11	志鷹美紗	室内楽(ピアノ)-2	2～4	2	演奏学科	主要	演習	ベルリン芸術大学での留学経験、ピアニストとしてソロや室内楽等の豊富な演奏経験を活かし、ピアノを含む様々な編成の楽曲について研究をすすめる。それぞれのグループごとのレッスンを通して、アンサンブルの基礎、表現技術を学ぶ。
12	万代恵子	室内楽(木管楽器)-1	2～4	2	演奏学科	主要	演習	ニーダーザクセン州立劇場のフルート奏者としての実績並びに国内外でソロやアンサンブルなど様々な演奏活動経験を活かし、指導を行う。アンサンブルを通して演奏技術、表現力、音楽づくりのスキルを身につける。
13	井田勝大	吹奏楽指導法Ⅱ	2～4	2	演奏学科	主要	講義	Kバレエカンパニー及びシアター オーケストラトーキョー音楽監督であり、指揮者として多くの楽団と共演の経験をもつ教員が指導を行う。吹奏楽の指導法について多角的に学習し、即戦力となる指導者としてのノウハウを身につける。
14	折河宏治 平野満 羽山弘子	オペラ研究Ⅰ	2～4	2	演奏学科	主要	演習	オペラ歌手(折河・羽山)、副指揮(平野)、マエストロ・ソステイトウト(平野)としての豊富な経験をもとに、学生たちにオペラ制作にどの様に携わるかを実際に体験させ、アンサンブルを創っていく事により、一人ひとりの個性を尊重し合い、ひとつの音楽社会のあり方を探求していく。
15	徳永崇	編曲法(合唱)	2～4	2	演奏学科	主要	講義	作曲家としての豊富な経験と実績を活かし、作曲・編曲の指導を行う。混声四部合唱を中心とした合唱曲の研究を通して、各声部の役割、声部の重ね方、歌詞の扱い方を考察し、さらには声部書法やピアノ伴奏書法を学んだ上で、混声合唱による編曲の実習を行う。
合計				30				